

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

# 屋久島の魅力更新

安房小学校 六年 川上 聖龍

今年の夏、屋久島にひいおばあちゃんが来ることになつた。お父さんのおばあちゃんだ。一諸にぼくのいとこたちも来る。小学生にもならない小さな兄弟だ。お父さんと一諸に屋久島のどこを案内すれば良いかを考えた。海や川で泳ぐのも楽しいし、山登りもある。大きな滝も紹介したい。二泊三日の旅行の中で屋久島の良さを感じてもらえるように一生けん命予定を立てた。その中でもぼくが一番心に残っているのは、マクスギランドだ。

マクスギランドで見た屋久杉の名前は千年杉。名前の通り千年も生きているようなとても大きな杉だった。社会の授業で習った平氏や源氏の時代から生きていたなんて信じられない。そんな長生きの木がたくさんある屋久島にはほとんどないパワ―があるんだと思う。ほかにも、二本の木が合体してできたくぐり杉や一つの切り株から生えた双子杉もあった。

No. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)





1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

そんなときにお兄ちゃんが切り株更新  
という言葉を教えてくれた。植物の種が芽を  
出すには栄養のある土が必要だ。でも岩の多  
い屋久島では、倒れた木の上で芽を出す種も  
たくさんあるらしい。倒れてしまった木の栄  
養を受けつぎながら新しい木が育っていく。  
そして、もともとの倒れた木がなくなると、  
人間の足のようにぼっかり穴が空くそうだ。  
そうやって長い年月をかけて受けつがれてき  
た屋久島の森をぼくは大切にしたいと思っ  
た。

屋久島に来てく木たおばあちゃんはもう  
ぐ九十才。ぼくの知らない昔のことをた  
ん知っている。そんなおばあちゃんの話を聞  
くのはとてもおもしろかった。ぼくと同じ  
らしいのころに戦争も経験しているらしい。テ  
レビ見たことのある。昔のことはおばあ  
ちゃんにとっては実際にあったことなんだ。教  
えてもらったことをしかりと胸にさざんで  
ぼくの栄養に変えながら、今、できることを  
がんばっていきたいと思った。

No. 2

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)





- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( 月 日 曜日 )

屋久島の魅力である川や滝、海にとたくま  
 しの歴史があつて今の姿があると思ふ。これ  
 からの歴史をつくるべくたちが屋久島の良さを  
 受けつぎ、守つていきたいと思つた。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

